

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4RF-2201
研究課題名	沿岸生態系の高次捕食動物スナメリ（絶滅危惧種）の生態解明
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	神戸大学
研究代表者名	岩田高志

1. 評価結果

評価ランク：B

2. 委員の指摘及び提言概要

大阪湾に生息するスナメリの分布と生態を多角的に調査し、保全政策への貢献を目指した。プラスチック誤飲が確認されず、都市近郊でも悪影響が少ないことが示された点は興味深く、関西空港周辺に分布が集中していることも注目される成果である。一方で、個体群動態の定量的評価には至らず、絶滅リスクの把握にも課題が残る。技術面では、バイオロギングが実施できなかったこと、ドローン調査の計画が不備であること、水中音の伝播距離が短かったなど、調査手法の限界が明らかとなった。ハセイルカに関する資料の扱い、調査スケールの妥当性、人間活動との関係性の評価をさらに進め、政策提言として改善が求められる。今後は、海洋学の専門家との連携や、継続的なモニタリング体制の構築が必要である。